

# みんなで考えよう抗菌薬の使い方 —私たちができること—



問い合わせ先 和水町立病院 0968・86・3105

風邪をひいて病院に行った経験はどなたにもあると思います。風邪はウイルスが鼻やのどにくっついて、くしゃみ、鼻水、せき、のどの痛み、発熱などがでることを言います。

## 細菌とウイルスは同じもの？

細菌は一つの細胞でできています。

細菌は栄養さえあれば自分で増えていくことができます。ウイルスは自分の細胞を持ちません。ヒトの細胞の中で増えていきます。

### 薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐ6カ条

- (1) 抗菌薬は医師の処方箋をもらって服用する
- (2) 抗菌薬は医師の指示通り飲み切る
- (3) 抗菌薬をどっておいて、あとで飲まない
- (4) 抗菌薬を人にあげない、もらわない
- (5) 分からないことは医師や薬剤師に聞く
- (6) うがいや手洗いなどで感染症予防を心がける

※AMR臨床リファレンスセンターのサイトから作成

## ウイルスに抗菌薬は効くの？

ウイルスは大きさや仕組みが細菌と違うので抗菌薬は効きません。ウイルスによる感染症を治療するには、そのウイルスに効果のある抗ウイルス薬を使用しなければなりません。



## 必要のない抗菌薬をのんではいけません！

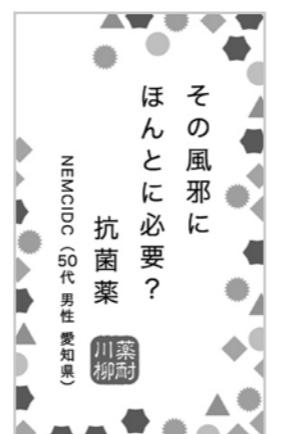
風邪の時に限らず、体調が悪い時「とりあえず抗菌薬を出してください」という人がいます。「何のまないよりマシだろう」と思っていたらそれは間違いです。

実は、皆さんの体の中には既に耐性菌があります。ほとんどはいつの間にか他人から移ってきたものか、今までにのんだ抗菌薬によって生まれたものです。これらの耐性菌は繁殖力が弱く、他の善玉菌に抑えられて細々と生きています。しかし抗菌薬は善玉菌も殺してしまうため、ライバルがいなくなってしまった耐性菌はここぞとばかりに繁殖を始めます。

つまり、必要のない抗菌薬をのむということは、耐性菌があなたの体の中で増えるチャンスを与えてしまうということです。

## 子や孫の子や孫のために

抗菌薬は医療界における20世紀最大の発明と言われています。抗菌薬のおかげで人類の平均寿命は飛躍的に伸びました。しかし抗菌薬の使い過ぎで耐性菌がどんどん増えています。しかも21世紀に入ってから新しい抗菌薬はほとんど生まれていません。このままでは22世紀には抗菌薬はほとんど使えなくなってしまうでしょう。貴重な財産である抗菌薬を未来に残すため、私たちができることを今日からでも実践してほしいと思います。



東西に主軸を持つ鋭角三角形の独立した山です。背面は、東端が広く、西端ですばまります。東西の長さ400m、幅は東端で230m、西端が15mです。山の斜面は、途中から凝灰岩の絶壁になります。B区と麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です。D区は、高畠に裾部を下す派生尾根にあります。E区は、D区とC区の間にある小谷です。

### 【A区】瘦せ馬地形を、さらに削り落とし

【B区】麓の高低差は、43.2mで、要害の地に築かれています。ただ、城跡の西端のK区だけは、高低差が、8.3mに留まります。

### 城跡の周辺

東下に十町川、南下に和仁川が流れおり、城跡の南東下約300m先で合流します。これらは、水濠の役割を果たします。高畠地区は、東西120m、南北50mの区域で、上位が城跡の斜面に食い込みます。

### 縄張り（A～L区に分けました）

主軸尾根にA～C区・F～K区があります。L区は、城跡の北東側斜面で、全体が凹地です。地形的に縄張りの一部です